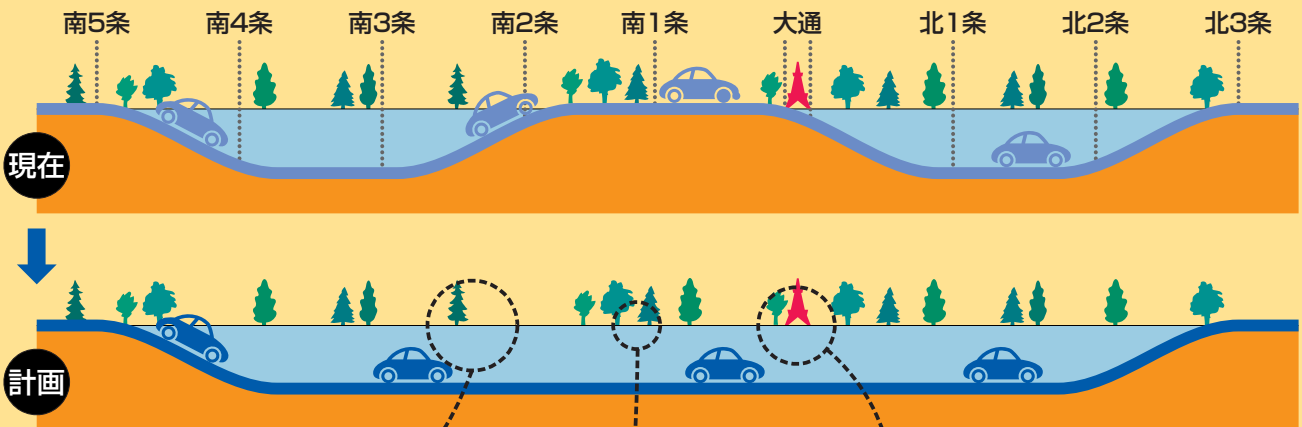


市が示した連続アンダーパス案

現在の南アンダーパスと北アンダーパスをつなげ、南五条から北三条まで連続化するものです。



狸小路と二条市場の間

橋を架けて地上で横断できるようにし、にぎわいを復活させる。現在の地下歩道は廃止。

新アンダーパスの地上部分

地上の道路は、現アンダーパス部分と同じ片側2車線にする。生まれた空間は、緑地を拡大し親水空間に。

大通付近

現在行き止まりになっている北大通きたおおどおりを東側に伸ばし、都心部の交通混雑を和らげる。



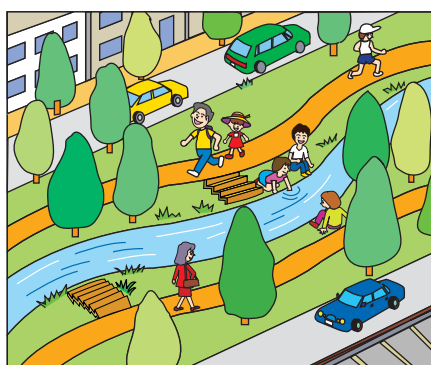
創成川通の水辺や緑について話し合うため、今年一月から七月まで、延べ三百三十二人の方が八回の会議に参加しました。懇談会では、市の連続アンダーパス計画も含め、通り全体について白熱した議論を展開。まとめとして、市の計画と異なる内容も含む提言書を市長に手渡しました。

創成川通市民懇談会で多くの市民が議論



市民懇談会の考え方（一例）

「こんな創成川通になってほしい」



これからの課題

都心の中での位置付けを明確に

市民懇談会での議論を踏まえ、市では従来の計画に固執せず、都心全体で幅広い視点から創成川通の整備について検討することにしました。

論点としては、①北大通の東側への延長と通過交通対

① 地上の道路は一車線に水辺空間の魅力を生かし、緑豊かな空間をつくる。そのため、地上の道路の車線は片側二車線ではなく、一車線が良い。

② 大通公園と創成川のドッキング

大通公園と創成川を一体的な広場にしたい。大通公園と創成川の間は、緊急車両のみ通行できるように。市の案に盛り込まれた、北大通（東進）の延長は見直してほしい。

③ 狸小路と二条市場をつなぐ広場の設置

狸小路と二条市場の間に架ける橋は、広場的なものにし、気持ちよく安全に歩ける空間にしたい。

策、②地上の車線数と緑の空間のバランス、③水辺や緑の空間の活用策などがあります。

そこで…8ページ「大規模ワークショップ」へ！